

2022（令和4）年度東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）
試験科目：民事法（商法）

第1問 株式会社の株主の権利が、会社債権者の権利に対して劣後するとはどのような意味か、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第2問 株式会社が、定款により、株式の譲渡による取得は会社の承認を要することができる（会社法107条1項1号・108条1項4号）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第3問 株式会社のうち、大会社および委員会型の会社においては、取締役会（取締役会設置会社でない場合は取締役）が、内部統制システムの整備を決定しなければならないとされている（会社法348条3項4号・4項、362条4項6号・5項、399条の13第1項1号ハ・2項、416条1項1号ホ・2項）。このように、内部統制システムの整備が取締役会の専決事項とされている（決定を委任できない）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第4問 株式会社の取締役が辞任して退任したが、会社が退任登記の申請を怠っていた場合、この退任取締役が、第三者に対し会社法429条1項の責任を負う余地があるか否かについて、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第5問 会社分割において、分割会社の不法行為債権者が、会社分割に異議を述べることができる場合に、当該不法行為債権者に対する各別の催告を省略できない（会社法789条3項括弧書、810条3項括弧書）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。